

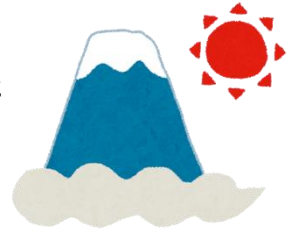


学校だより

第 154 号 令和 2 年 1 月 31 日

3学期を迎えて

年末年始の冬季休業中も大きな事故などの報告もなく、穏やかな天候に恵まれた年明けとなり、児童・生徒たちの姿が学校内に戻ってきて、3学期のスタートとなりました。新たな年の2020年、子どもたちの成長を願い、気持ちも新たに日々の教育活動を充実させていきたいと思えます。



今年は、子年で十二支の始まり、去年の亥年にエネルギーをため、子年に芽吹くと言われていています。一説には新たに芽生えて、いろいろな方向に育ち始める状態から、ゆがみや乱れが生じるともありますが、個々が軸となる価値観をしっかりと持ち、組織としても新たな局面に対応できる人材育成ができる年であるとも言われています。軸となる価値観＝子どもたちの成長ですね！

子年の「ねずみ」は、子孫繁栄を象徴する動物と同時に「寝ず身」と当て字で働き者のイメージも使われることもあるそうです。とはいえ、働きすぎは注意！です。

2020年の日本と言えば、やはり東京オリンピック・パラリンピックなしでは語れません。国際オリンピック委員会の総会にて「お・も・て・な・し」と日本を紹介したのが2013年、その年の流行語大賞にも選ばれました。(昨年2019年は「ONE TEAM」です！しばらくはやりそうです。)思い返すと、オリンピック誘致、開催に向けた取組は、長い期間と莫大なエネルギーが使われていることも容易に想像できます。だからこそ、世界的なスポーツの祭典が再び日本で開催されるのは、楽しみですね。

そして、同時にこれまであまり知られてこなかったパラリンピック競技にも注目が集まり、特に「ボッチャ」は、学校や地域においても経験する機会が多く設けられ、体験した方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。



さて、大きな目標を持って取組み、結果を出すまでには、どうしても時間がかかります。よく「コツコツと！」と言いますが、ぶれずに「コツコツ」を続けることは容易ではありません。学校では、今年度のしめくりとなる3学期です。授業日数は少ないのですが、各学年のまとめとなる大切な学期です。各学部の最高学年の児童生徒にとっては、卒業に向けた学期ともなります。進学・進級に向け、一日一日、よく学び、よく遊び、よく笑って、様々な表情や発信を受けとめ、今年も教職員一同、気持ちを新たに教育活動に取り組んでいきますので、保護者、地域、関係者の皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校長 鈴木 英資